

## Netzon チェンジャーを DVD ビデオ閲覧システムで使用する際の iSCSI 接続の動作検証 (2014/7/25)

有限会社オプティカルエキスパート

公立図書館での DVD ビデオの自動鑑賞システムでは、従来から SCSI 接続の DVD チェンジャーが使用されています。この DVD チェンジャーを Netzon の HMS シリーズで置換える場合には SCSI が使用出来ないため、鑑賞用 PC と内蔵ドライブの接続方法として iSCSI を使用して動作検証を行ったので内容を紹介します。

### 既存の DVD 閲覧・鑑賞システムの概要

パイオニアの DRM-7000 は SCSI 接続のため、内蔵ドライブと DVD 鑑賞用 PC が SCSI でダイレクト接続。

鑑賞用 PC では、閲覧可能な DVD タイトルの検索画面があり、鑑賞する DVD を選択

DRM-7000 が接続されている管理 PC で、選択された DVD を鑑賞用 PC が接続されている内蔵ドライブへ移動

鑑賞用 PC では、DVD がドライブに入ったことを自動検出してビデオ再生を開始

鑑賞が終了すると閲覧者が検索画面等で終了を指定すると、内蔵ドライブから DVD を元のスロットへ移動

### Netzon チェンジャーに置き換える場合の変更点

管理 PC とライブラリーの接続が、SCSI からイーサネットに変更

内蔵ドライブと鑑賞用 PC の接続が、SCSI から iSCSI に変更

チェンジャーが接続されている管理 PC と鑑賞用 PC は汎用のイーサネットでの接続となる。

以下に、管理 PC 側で内蔵ドライブを iSCSI ターゲットに設定し、鑑賞用 PC 側でドライブとして使用するまでの手順を紹介します。

### 1. 管理 PC での iSCSI ターゲット設定

内蔵ドライブの iSCSI ターゲット化は、管理 PC 上で、iSCSI ターゲット用のソフトを稼動する。この動作検証では、以下のソフトウェアを使用しました。ソフトウェアは、30 日間の評価ライセンスでインストールしています。

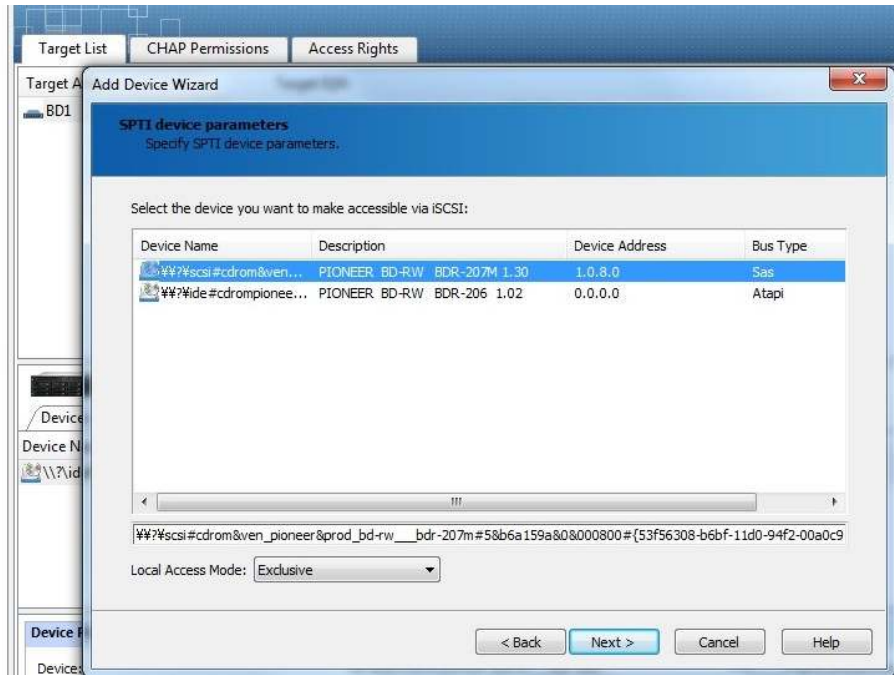
StarWind iSCSI SAN & NAS V6

インストール後、StarWind の管理用 GUI から、Device の追加を実行し、種類として RawDevice を選択する。

以下のスクリーンショットでは、ドライブが 2 台認識されており、Bus Type が Sas の BDR-207M が、HMS1035 に内蔵されている。BDR-207M を選択して、Next をクリックする。



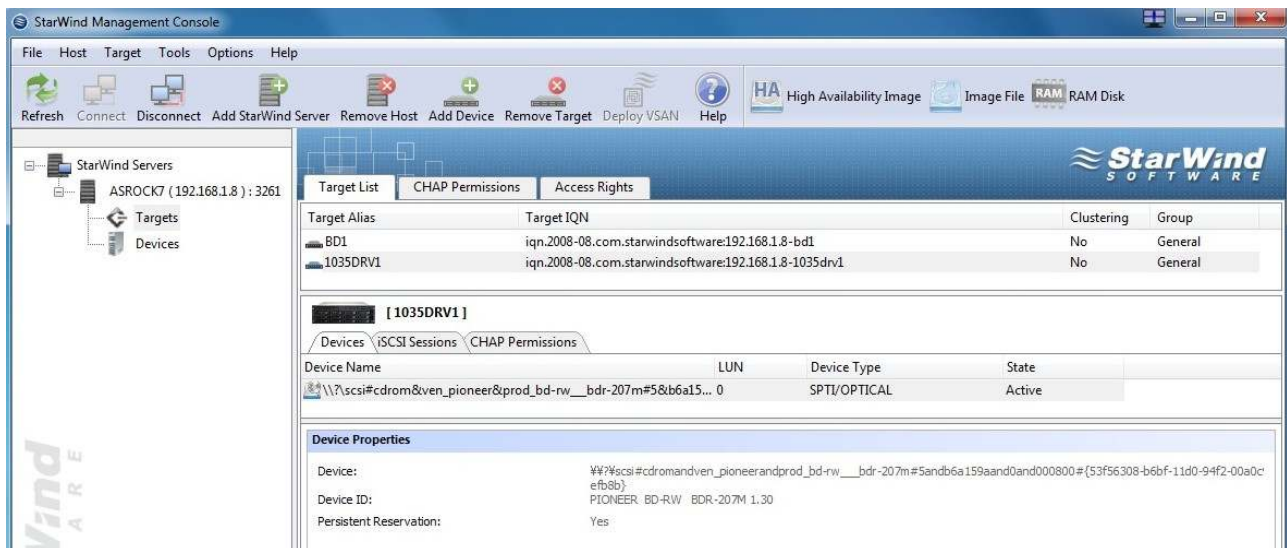
rWind  
T W A R E



以下の確認画面が表示されるので、Next をクリック。



これで、以下の画面の通り iSCSI のターゲットとして登録される。Target Alias の 1035DRV1 が HMS1035 の内蔵ドライブです。スクリーンショットの左側の StarWind Servers の下に表示されている ASROCK7(192.168.1.7:3261)が HMS1035 が SAS で接続されている管理用 PC です。

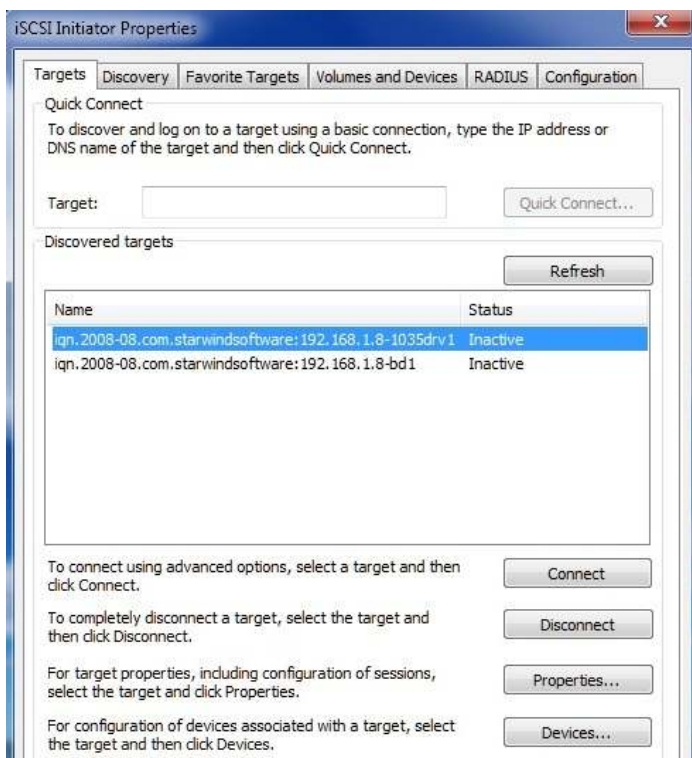


これで、管理用 PC 側での iSCSI ターゲット設定は終了です。

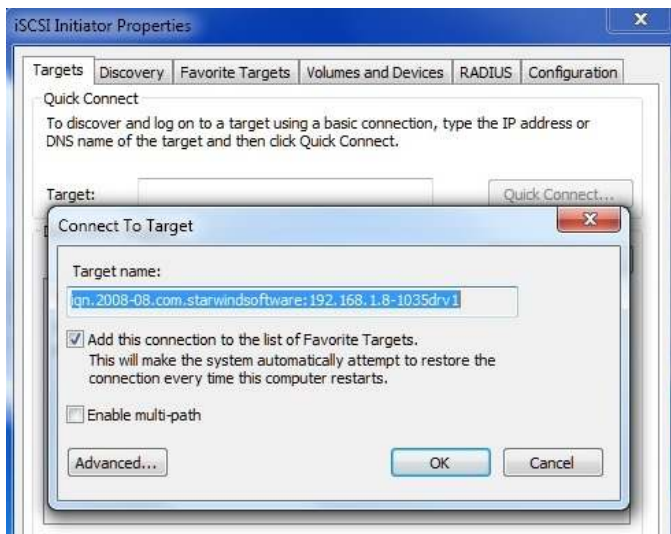
## 2. 鑑賞用 PC での iSCSI イニシエーターの設定

鑑賞用 PC での iSCSI イニシエーターで BDR-207M を認識させます。テスト用 PC は、Windows7 で DVD 再生用に CyberLink の PowerDVD13 がインストールされています。まず、Windows に付属している iSCSI Initiator をコントロールパネル-システム-管理ツールから起動します。

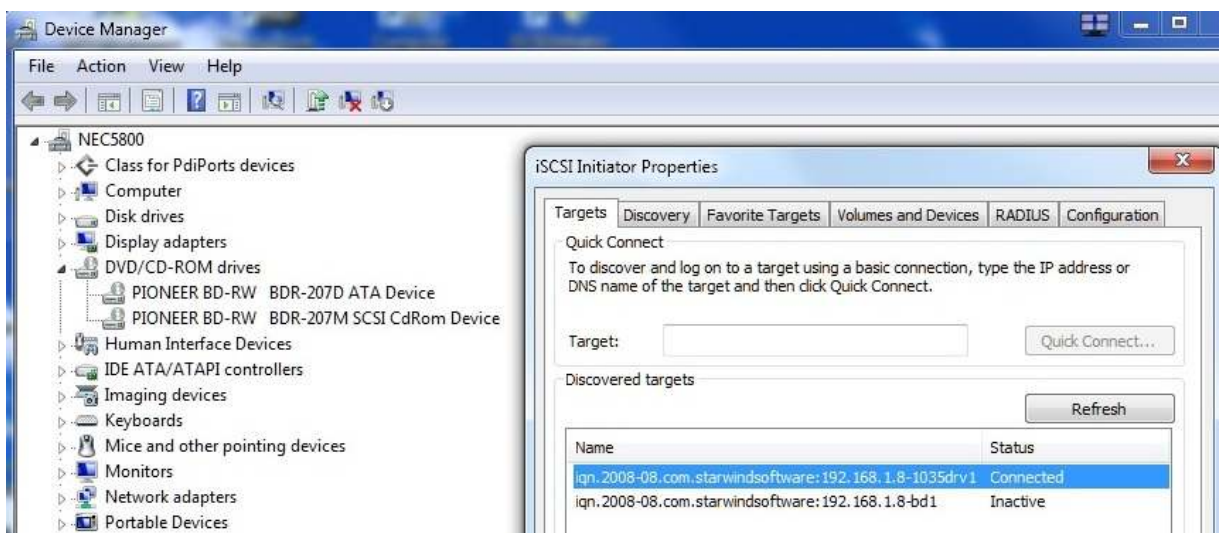
Quick Connect で接続対象の IP アドレス、この場合は 192.168.1.8 を指定すると以下のように見つかったターゲットが表示されます。上側が、HMS1035 の内蔵ドライブですので、Connect をクリックします。



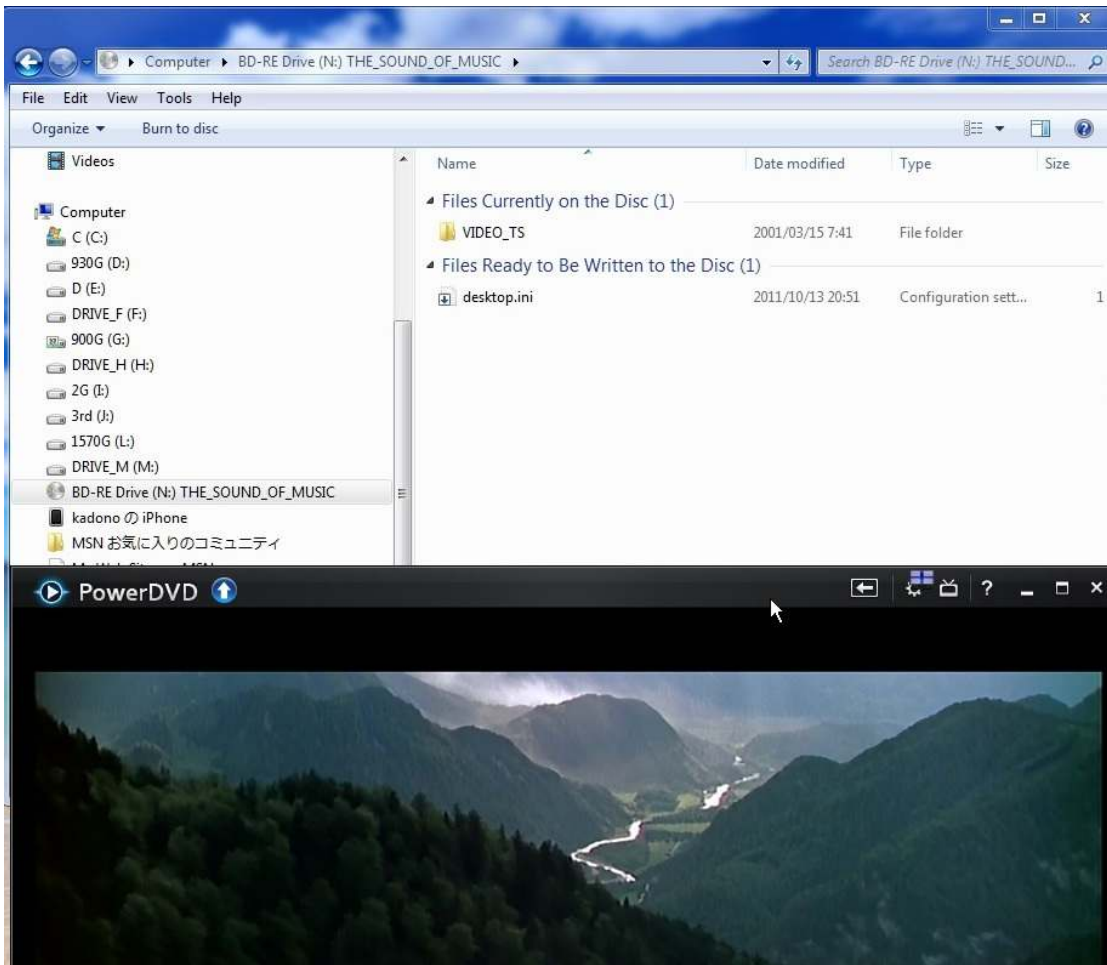
すると、以下の確認画面が表示されるので、そのまま OK をクリックします。



以下のように Status が Connected になりました。デバイスマネージャーでも表示されています。これで、HMS1035 に内蔵されている BDR-207M が、鑑賞用 PC で使用可能となります。



この状態で、HMS1035 に内蔵されている BDR-207M に DVD ビデオディスクを入れると、PowerDVD が起動し、ビデオが再生されました。以下のスクリーンショットは、再生されている DVD ビデオのファイルをエクスプローラーで表示し、下側がビデオを再生している PowerDVD の画面です。ビデオ再生を PowerDVD で停止し終了後に、DVD ビデオを入れ換えると再度 PowerDVD が起動しビデオ再生が始まることを確認しました。



iSCSI イニシエーターの設定は、PC を再起動後もそのまま有効となります。

ということで、iSCSIで接続した場合でも Netzon チェンジャーに内蔵されているドライブを鑑賞用 PC で問題無く使用出来ることが確認出来ました。